



茶

一番茶は「味」
二番茶は「色」重視！
降雨による刈り遅れ
に注意！



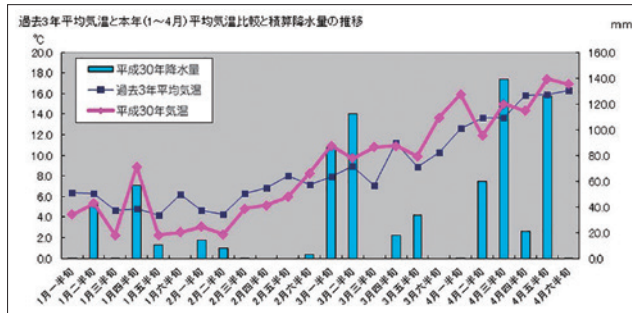
農業経営支援課
山本 尚充

《一番茶を振り返る》

気温は、1月から2月にかけて平年より低く推移し、3月・4月はかなり高めに推移しました。降水量は、1月から2月は少なく、3月・4月は平年を大きく上回りました。冬の寒さにより良質なお茶が安定して生産されましたが、一部では生育速度に追いつかず、刈遅れによる「コワ葉」が見られました。また、品種や地域による生育差が小さいため、短期集中型となりました。

《二番茶の摘採》

一番茶の摘採後、5日前後



で二番茶の摘採が始まります。二番茶の生育は、気温が高いため茶芽の硬化速度も速く倒伏の摘採を心掛けてみましょう。また、気象庁発表の6月予報では、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予測されています。降雨による刈り遅れ等を回避するため、前倒しの摘採を心掛けましょう。気温の上昇に伴い、摘採袋内での「葉やけ・葉ムシ」を引き起こす可能性があります。摘採袋内の生葉を減らす、速やかに工場へ運ぶ、摘採後は木陰で管理する等注意しま

しょう。この時期は農作業が集中するため、摘採機等の扱いには十分注意し、事故防止に努めてください。また、熱中症に注意し水分はこまめに取りましょう。一番茶は「味」二番茶は「色」重視となります。色沢を落とさないようにしましょう。

《病害虫防除》

今月は、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ、チャノホンガ、ヨモギエダシヤク、炭そ病、もち病、輪班病の発生が見られます。特にチャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、炭そ病、もち病は二番茶芽の萌芽・生育期に被害及び感染しますので注意が必要です。梅雨時期のため、雨の合間を見ての散布も必要になりますので、新芽の生育を見て適期防除を心掛けてください。(更新園含む)